



2009年8月26日(第3号)

2つの“バブル”のなかの総選挙

今回の総選挙は、政策公約という観点から見るかぎり極めて大きな特色がある。それは、各党ともほとんど例外なく「ポピュリスト型」の政策を多数掲げていることだ。逆に、厳しい規律の中で市場の活力を活かして競争力を強化し、経済成長を実現するという視点が、見事なほどに抜け落ちている。メディアの議席予想では、民主党の圧倒的勝利が見込まれているが、いずれにせよ当面大きな政府が指向されることを前提に、今後日本経済の姿を見通すことが必要になる。ここでは、「財政バブル」と「政権交代バブル」という、2つの“バブル”の見極めが重要になることを指摘したい。

各政党がポピュリスト型政策を進めるなかで、引き続き大きな財政拡大圧力が働くことは間違いない。自民党政権下で史上最大規模の経済対策がうたれたが、麻生氏は政権が続けば再度補正予算を組むことを明確にしている。民主党政権ができた場合も、今度は来年の参院選まで経済回復を続けさせるために、財政拡大を行なうものと想定される。このため、短期的には経済への刺激効果が働き、市場もポジティブに反応することになるだろう。しかしこれは、あくまで財政による一時的な経済引き上げであり、財政による水膨れ、つまり「財政バブル」ということができる。

一方政治的には、「政権交代バブル」と呼べるものが存在し、これが今回選挙における民主党への圧倒的な支持を生み出している。各種アンケートなどによると、国民は必ずしも民主党の政策を高く評

価しているわけではない。しかし、とにかく一度は政権交代があるほうが良いと判断している。経済的には、自民党政権が「財政バブル」を活用して選挙戦を有利に戦おうとしたが、民主党がよりポピュリスティックな政策でより大きな財政バブルを作りつつある。政治的には、民主党が「政権交代バブル」で一方向的な追い風を受けている。結果的に、民主党が選挙戦で優位に立つのはおおいに理解できるところである。

重要なのは、バブルは必ず崩壊する、という点だ。経済的には、やがて財政赤字拡大が深刻化し、国債市場への不安が高まる懸念がある。この財政バブルは、やがて崩壊せざるをえないのである。政治的には、いまの民主党に十分な政権担当能力があるかどうかについて懐疑的な向きもあり、民主党政権になっても早晩支持率が急落するリスクもあるのではなかろうか。つまり、政権交代バブルの崩壊もあり得る。問題は、この2つのバブル崩壊が、どのような順序で生じ、いかなる対応がなされるかである。

理想的には、まず政権交代バブルが崩壊し、政界再編が粛々と進んで、きちんとした政策の下で財政バブルが正常化されることが望まれる。具体的に、自民党と民主党の有志を中心に、成長・競争と歳出削減を堂々と掲げる新党が作られ、ポピュリスト型政策の修正を行なうことである。しかし、財政バブルが先に崩壊し国債市場が混乱するようなケース、政権交代バブルが崩壊してもその後の政界再

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。Copyright©2009 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com



2009年8月26日(第3号)

編が進まないような場合、政治経済の混乱は極めて大きくなる可能性がある。そのように考えると、やはり今回の選挙における有権者の選択は極めて重要だ。

各党が持続可能ではないポピュリスト型の大きな政府を目指している以上、国民がいま考えるべきは、選挙区の候補者が将来の政界再編に不可欠な人材かどうかという点である。この際、次元の低い政党の政策公約に縛られることなく人物本位で投票すること、政界再編を担える人材かどうかを考えることこそが、日本の将来のために必要ではないか。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。Copyright©2009 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com